

第4章 調査から得られた示唆

1. 私傷病の発生状況等について

今回実施したアンケート調査では、企業の人事担当者の感覚で「企業における私傷病者数は増加傾向にある」という認識を持つ企業が3割、「横這い」という認識を持つ企業が5割であった。ただ、私傷病の内訳（メンタル、身体、判別困難）別にみると、「メンタル」に関する私傷病者数は増えているという認識を持つ企業が4割近くと増え（「身体」に関して「増加」という認識を持つ企業は1割強）、とりわけ正社員1000人以上規模の企業では6割超が「メンタルに関する私傷病者数は増えている」としている。

翻って「自社内でメンタルヘルスに関する疾病を発症している者のうち、企業として何%ぐらい把握できていると思うか」という設問については、回答企業平均で57.7%という数値が得られている。この数値については正社員規模による大きな差はなく、わが国企業人事担当者は「自社内には、顕在化しているメンタルヘルス疾病者以外に、その人数に近い潜在疾病者が存在しているのでは」という不安・疑念を抱えているのが現況である。

2. 企業が従業員の健康を守るために整備しているインフラについて

今回実施したアンケートでは回答企業の9割が「法定通り」もしくは「法定以上」の「健康管理（健康診断）」を実施していることがわかったが、一方で「メンタルヘルスに関する研修」の実施率は管理職で34.7%、非管理職で20.4%と実施率向上の余地は大きく、「健康維持」と密接な関係があるといわれる「労働時間管理に関する研修」の実施率も管理職36.6%、非管理職17.0%と決して高くない数値になっている。

上記研修の実施率は正社員規模に応じて大きく異なっている（言うまでもなくスケールメリットの大きい、あるいは研修時間が確保しやすい大規模企業の実施率が高い）。中小企業には「中小企業職業相談委託助成金」（例えば「職場内において、労働者が感じるストレスをコントロールするためのメンタルヘルス」に関して外部の専門機関等へ委託する費用の一部に充てることができる助成金：（独）雇用・能力開発機構）といった支援等を効果的に活用することができるといった情報等を周知する対策等が望まれる。

※なお、今回アンケート調査では「産業医等の常駐の有無」や「長時間労働者に対する産業医等の面接・保健指導等の有無」といった「健康管理インフラ」の状況についても設問を用意したが、「常駐」の意味を「選任」と取り違えていると類推される回答があった点や、「そもそも長時間労働者が存在しないので面接等は実施していない」という回答が「インフラ整備が進んでいない」と採られかねない設計になってしまった点等から、本章にはこれらを含めなかった。

※ちなみに平成20年4月より労働者数50人未満の小規模事業場でも「長時間労働者への医師による面接指導」が義務づけられた。該当する事業場は近くの「地域産業保健センター」（全国347カ所に設置）に問い合わせられたい。

3. 私傷病による休業制度の整備と運用について

今回アンケート回答企業のうち、私傷病に関する病気等休暇・休業制度を整備しているのは全体の6割程度であった。当該制度の整備状況は正社員規模の大きい企業ほどその比率が高く、1000人以上規模の企業で制度整備率は85.3%、50人未満企業で38.3%と格差が大きくなっている。

また、休業期間中に月例賃金を支給する企業は休業制度を整備している企業のうち、41.4%となっている（ただ今回データからは確かなことはいえないが、「休業期間中は月例賃金を支給しない」という企業では「傷病手当金」や「共済からの手当金」等が支払われている可能性も少なくないと推察される）。

なお、休業期間中に月例賃金を支給する企業のうち、その最長支払期間の平均は2年程度で、支払いパターンには大まかに2種類ある。1つ目のパターンは期間中支給率が変化しないもので、この場合の平均支給率は休業前の月例賃金の85%程度となっている。もうひとつのパターンは休業期間中に支給率が変化するケースで最初の支給率は90%程度、変化後の支給率は50%程度というのが平均値になっている。

4. 復職に向けて ～私傷病によるブランクの克服に企業としてできること～

近年、ワークライフバランス（「仕事と私生活を両立させること」）の実現に向けた議論等が活発化する中、今後、労働者が「長期間勤め続けたい」とする企業は「私傷病によるブランクを克服できる配慮や制度があること」が条件のひとつになる可能性が想定される。

中長期的に「人手不足」が見込まれるわが国において、「私傷病を発生させない取り組み（健康管理体制の充実）に積極的」とみなされる企業は、そうでない企業と比べて優位な立場に立つ可能性がある。また万が一、私傷病を患っても治癒・回復に向けた十分な休業制度が確立されていたり、その期間中の生活保障がしっかりとしていたり、あるいは復職に向けた支援体制が個人にとって安心できるものであったりすること等は、優秀な人材を確保するための必要条件となりうる可能性が高い。

今回調査では、企業に働く者にとって「私傷病によるブランクの克服」の機会がどの程度整備されているか、その相場感を把握することができた。もっとも自社従業員の「私傷病によるブランクの克服」に企業がどれだけ手を貸すかは、法定部分を除けば、各企業のポリシーや体力によって左右されることも事実である。いずれにせよ、企業にとって重要な資源のひとつである「人材」が安心して働けられるようにするためには、今回調査で把握された「相場感」を参考に、各社が一定の制度整備等を推進していくことが望まれる。

資料編

1. アンケート調査票
2. 集計表

従業員の私傷病に関する実態と支援に関するアンケート調査

【ご注意事項】

1. 本アンケート調査は、みずほ情報総研(株)が厚生労働省職業安定局からの委託研究の一環として実施しております。
2. 本アンケート調査は無記名式です。また、ここにご記入いただいた情報は統計的に処理し、他の目的に利用することは一切ございません。
3. ご記入がすみましたら、返信用封筒（切手は必要ございません）にて平成 20 年 1 月 31 日（木）までに直接ご返送下さい。
4. 本調査の結果は平成 20 年 4 月以降、厚生労働省のホームページ等を通じて公開される予定です。

《調査内容に関するお問い合わせ》

みずほ情報総研株式会社 社会経済コンサルティング部

担当：小曾根、植村、江淵 TEL：03-5281-5276（月～金曜日、10時～18時）

I. 貴社の概要について

問 1. 貴社の業種は。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 製造業 | 2. 情報サービス業 |
| 3. 運輸・通信業 | 4. 卸売・小売業 |
| 5. 金融・保険業 | 6. 建設・不動産業 |
| 7. 医療・福祉・教育業 | 8. 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 9. 飲食サービス業 | 10. その他サービス業 |

問 2. 正社員数（受入出向者を除く）ならびに非正社員数は。(直近の数値をご記入下さい)

正社員 () 名	非正社員 () 名
-----------	------------

問 3. 正社員の (1) 平均年齢、および (2) 年代構成は。(直近の数値をご記入下さい)

(1) 平均年齢 (数字をご記入下さい)

正社員 約 () 歳

(2) 年代構成 (合計して「10割」になるよう太線内に数字をご記入下さい)

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代以上	(合計)
(例)	3割	2割	4割	1割	10割
正社員	割	割	割	割	10割

問4. (1) 年間売上高、および(2) 年間総額人件費は。(直近の数値をご記入下さい)

(1) 年間売上高

約 () 万円

(2) 年間総額人件費*

約 () 万円

※ここで言う「総額人件費」とは「正社員における月例賃金、賞与・一時金、退職金、企業年金、福利厚生費」の総和を意味します。(「非正社員」や、「派遣社員」、「請負社員」等のいわゆる「間接雇用」人員に要したコストは含みません。)

問5. 「人事管理の基本方針」は、以下のどれに最も近いですか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none">1. 年功主義的な色彩が強い2. どちらかというと年功主義が強いが、能力・成果主義も採り入れている3. どちらかというと能力・成果主義が強いが、年功主義も採り入れている4. 能力・成果主義的な色彩が強い
--

問6. 貴社が実施している「従業員に対する健康管理」の現状は、以下のどれに最も近いですか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none">1. 特に「健康管理」は実施していない2. 「健康管理」は実施しているが、法定には達していない3. 法定通りの「健康管理」を実施している4. 法定以上の「健康管理」を実施している
--

Ⅱ. 「私傷病に関する病気等休暇・休業制度」とその運用について

問7. 貴社には、通常の有給休暇以外で、連続して1ヶ月以上、従業員が私傷病時に利用できる休暇・休業の制度(以下、「私傷病に関する病気等休暇・休業制度」と表記します)はありますか。(○は1つ。労働災害で患った傷病による休暇・休業制度は除く。)

1. ある → 問8へ	2. ない → 問17へ
-------------	--------------

問 8. 【問 8～問 16 は問 7 で「1. ある」とご回答いただいた方のみお答え下さい】

「私傷病に関する病気等休暇・休業制度」に関する以下の設問にお答えください。

問 8-1. 「私傷病に関する病気等休暇・休業制度」における最長休業期間は。(数字をご記入下さい。勤続年数によって期間が異なる場合は、制度上、最も長期のケースについてお答え下さい。)

() 年 () ヶ月

問 8-2. 「私傷病に関する病気等休暇・休業」期間中に月例賃金(「傷病手当金」や「共済からの手当金」等は除く)は支給されますか。(○は1つ)

1. 支給される →問 8-3 へ	2. 支給されない →問 9 へ
-------------------	------------------

問 8-3. 月例賃金(「傷病手当金」や「共済からの手当金」等は除く)が支給される最長期間は。(数字をご記入下さい)

() 年 () ヶ月

問 8-4. 「私傷病に関する病気等休暇・休業」期間中に支給される月例賃金は、支給期間中に変わりますか。(○は1つ)

1. 変わらない →問 8-5 へ
2. 変わる →問 8-6 へ

問 8-5. 支給される月例賃金は休暇・休業前の月例賃金の何%程度ですか。(数字をご記入下さい)

月例賃金の () %程度 →問 9 へ

問 8-6. 支給額が変わる場合、最初に支給される月例賃金は休暇・休業前の月例賃金の何%程度ですか。またその後は何%程度ですか。(「その後」について、支給額が複数回にわたり変更される場合には全体を平均した数値をお答え下さい)

最初は月例賃金の () %程度
変更後は平均して月例賃金の () %程度

Ⅲ. 「私傷病に関する病気等休暇・休業制度」の利用実態について

問 9. 現在の「私傷病に関する病気等休暇・休業」の対象人数は何名ですか。また現在、同休暇・休業制度を利用している従業員の、2006年1月1日～2007年12月31日までの休暇・休業日数を足し上げるとのべ何日になりますか。(数字をご記入下さい)

※可能な範囲で結構ですので傷病の種類別にお答え下さい。

傷病の種類	現在の休暇・休業人数	2006年1月1日～ 2007年12月31日までの のべ休暇・休業日数
合計	人	日
うちメンタルに関するもの	人	日
うち身体に関するもの	人	日
うち上記の判別が難しいもの	人	日

問 10. 2006年1月1日～2007年12月31日までの間に、「私傷病に関する病気等休暇・休業」を取得した従業員のうち、現在、何人が退職、復職、あるいは再発(再び病気等休暇・休業に入った者)していますか。(数字をご記入下さい)

※可能な範囲で結構ですので傷病の種類別にお答え下さい。

傷病の種類	退職	復職	再発(再び病気等休暇・休業に入った者)
合計	人	人	人
うちメンタルに関するもの	人	人	人
うち身体に関するもの	人	人	人
うち上記の判別が難しいもの	人	人	人

問 11. 「私傷病に関する病気等休暇・休業」を取得している従業員1人あたりに支払っている1ヶ月当たりの給与は、平均するとおおよそいくらになりますか。(数字をご記入下さい。通常の有給休暇取得期間中に支払った金額や傷病手当金・共済からの手当金等はここには含みません。)

1人1ヶ月当たり約 () 万円

問 12. 私傷病者数は以前と比べてどのように変化していますか。(○はそれぞれ1つ)

傷病の種類	増減傾向
合計	1. 増えている 2. 横這い 3. 減っている
うちメンタルに関するもの	1. 増えている 2. 横這い 3. 減っている
うち身体に関するもの	1. 増えている 2. 横這い 3. 減っている
うち上記の判別が難しいもの	1. 増えている 2. 横這い 3. 減っている

問 13. 「傷病手当金」や「共済からの手当金」等を支給されている（企業からの「月例賃金」の支給は除く）「私傷病に関する病気等休暇・休業」取得者に対して、いわゆる「リハビリ入社」を実施していますか。(○は1つ)

1. 実施している	2. 実施していない
-----------	------------

問 14. 「私傷病に関する病気等休暇・休業」取得を経て復職した従業員に対して「短時間勤務」等の勤務形態を採る仕組みはありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問 15. 「私傷病に関する病気等休暇・休業」の取得を経て復職した従業員は、復職直後、どの程度もとの職場に復帰していますか。傷病が（1）「メンタルに関する場合」と、（2）「身体に関する場合」、それぞれについてお答え下さい（○はそれぞれ1つ）

（1）「メンタルに関する場合」

1. ほとんどの者がもとの職場に復帰している
2. どちらかというともとの職場に復帰する者が多い
3. どちらかというともとの別の職場に移る者が多い
4. ほとんどの者が別の職場に移っている

（2）「身体に関する場合」

1. ほとんどの者がもとの職場に復帰している
2. どちらかというともとの職場に復帰する者が多い
3. どちらかというともとの別の職場に移る者が多い
4. ほとんどの者が別の職場に移っている

問 16. メンタルヘルスを発症している社員のうち、約何%を会社として把握できている
と
思いますか。(数字をご記入下さい)

約 () %程度は把握できていると思う

IV. 従業員の健康管理体制について

問 17. 貴社には常駐の産業医、保健師、看護師がいますか。(○は1つ)

産業医	1. いる → () 名	2. いない
保健師	1. いる → () 名	2. いない
看護師	1. いる → () 名	2. いない

問 18. 「長時間労働者※」に対する産業医等の面接・保健指導等を実施していますか。(○
は1つ)

1. 法定以上に実施している → 問 19 へ
2. 法定通りに実施している → 問 19 へ
3. 法定以下だが実施している → 問 19 へ
4. 実施していない → 問 20 へ

※労働者の週 40 時間を超える労働が1ヶ月当たり100 時間を超え、かつ、疲労の蓄積が認めら
れる場合(または週 40 時間を超える労働が1ヶ月当たり 80 時間を超え、かつ、疲労の蓄積が
認められる場合)

問 19. 産業医等が過去 1 年間に実施した「長時間労働者」に対する面接・保健指導等の
「のべ実施人数」は何名ですか。(数字をご記入下さい)

のべ () 人

問 20. 過去 1 年間に (1) 「メンタルヘルス」や、(2) 「労働時間管理」に関する研修
を実施しましたか。(○はそれぞれ1つ)

(1) メンタルヘルスに関する研修

管理職	1. 実施した	2. 実施していない
非管理職	1. 実施した	2. 実施していない

(2) 労働時間管理に関する研修

管理職	1. 実施した	2. 実施していない
非管理職	1. 実施した	2. 実施していない

2. 集計表

問1業種...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	製造業	379	27.8
2	情報サービス業	58	4.3
3	運輸・通信業	116	8.5
4	卸売・小売業	182	13.4
5	金融・保険業	41	3.0
6	建設・不動産業	97	7.1
7	医療・福祉・教育業	206	15.1
8	電気・ガス・熱供給・水道業	7	0.5
9	飲食サービス業	17	1.2
10	その他サービス業	228	16.8
	不明	30	2.2
	全体	1361	100.0

問2正社員数...(数量)

合計	665087.0
平均	491.6
分散(n-1)	1400732.9
標準偏差	1183.5
最大値	13500.0
最小値	0.0
不明	8
全体	1353

問2正社員数(5カテ)...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	50人未満	120	8.8
2	50～100人未満	407	29.9
3	100～300人未満	389	28.6
4	300～1000人未満	274	20.1
5	1000人以上	163	12.0
	不明	8	0.6
	全体	1361	100.0

問3(1)平均年齢...(数量)

合計	52322.2
平均	40.0
分散(n-1)	30.5
標準偏差	5.5
最大値	63.0
最小値	23.0
不明	53
全体	1308

問3(2)年代構成-20歳代以下...(数量)

合計	2841.8
平均	2.1
分散(n-1)	2.2
標準偏差	1.5
最大値	9.0
最小値	0.0
不明	39
全体	1322

問3(2)年代構成-30歳代...(数量)

合計	3919.0
平均	3.0
分散(n-1)	1.3
標準偏差	1.1
最大値	8.5
最小値	0.0
不明	39
全体	1322

問3(2)年代構成-40歳代...(数量)

合計	3184.9
平均	2.4
分散(n-1)	1.0
標準偏差	1.0
最大値	9.0
最小値	0.0
不明	40
全体	1321

問3(2)年代構成-50歳代以上...(数量)

合計	3284.3
平均	2.5
分散(n-1)	2.8
標準偏差	1.7
最大値	10.0
最小値	0.0
不明	39
全体	1322

問4(1)年間売上高...(数量)

合計	5628158456.1
平均	4773671.3
分散(n-1)	#####
標準偏差	26179586.5
最大値	573257500.0
最小値	0.0
不明	182
全体	1179

問4(2)年間総額人件費...(数量)

合計	347673620.0
平均	347326.3
分散(n-1)	#####
標準偏差	1075191.1
最大値	15800000.0
最小値	375.0
不明	360
全体	1001

問5「人事管理の基本方針」...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	年功主義的な色彩が強い	128	9.4
2	どちらかというと年功主義が強いが、能力・成果主義も採り入れている	538	39.5
3	どちらかというと能力・成果主義が強いが、年功主義も採り入れている	404	29.7
4	能力・成果主義的な色彩が強い	270	19.8
	不明	21	1.5
	全体	1361	100.0

問6「従業員に対する健康管理」の現状...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	特に「健康管理」は実施していない	18	1.3
2	「健康管理」は実施しているが、法定には達していない	101	7.4
3	法定通りの「健康管理」を実施している	995	73.1
4	法定以上の「健康管理」を実施している	224	16.5
	不明	23	1.7
	全体	1361	100.0

問7「私傷病に関する病気等休暇・休業制度」...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ある	797	58.6
2	ない	554	40.7
	不明	10	0.7
	全体	1361	100.0

問8-1最長休業期間-年...(数量)

合計	1748.8
平均	2.3
分散(n-1)	9.2
標準偏差	3.0
最大値	32.3
最小値	0.1
不明	35
全体	762

問8-2月例賃金支給の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	支給される	330	41.4
2	支給されない	464	58.2
	不明	3	0.4
	全体	797	100.0

問8-3月例賃金支給の最長期間(年)...(数量)

合計	274.5
平均	2.0
分散(n-1)	9.4
標準偏差	3.1
最大値	22.5
最小値	0.1
不明	196
全体	134

問8-4月例賃金支給期間中の金額の変更有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	変わらない	202	61.2
2	変わる	122	37.0
	不明	6	1.8
	全体	330	100.0

問8-5支給月例賃金は休暇・休業前の何%か(不変)...(数量)

合計	16726.5
平均	85.8
分散(n-1)	406.6
標準偏差	20.2
最大値	100.0
最小値	15.0
不明	7
全体	195

問8-6支給月例賃金は休暇・休業前の何%か(最初)...(数量)

合計	9449.0
平均	93.6
分散(n-1)	236.7
標準偏差	15.4
最大値	100.0
最小値	20.0
不明	21
全体	101

問8-6支給月例賃金は休暇・休業前の何%か(変更後)...(数量)

合計	5465.2
平均	54.1
分散(n-1)	691.7
標準偏差	26.3
最大値	90.0
最小値	0.0
不明	21
全体	101

問9現在の休暇・休業人数-合計...(数量)

合計	3475.0
平均	5.1
分散(n-1)	434.4
標準偏差	20.8
最大値	370.0
最小値	0.0
不明	120
全体	677

問9現在の休暇・休業人数-メンタル...(数量)

合計	1616.0
平均	2.4
分散(n-1)	103.4
標準偏差	10.2
最大値	170.0
最小値	0.0
不明	120
全体	677

問9現在の休暇・休業人数-身体...(数量)

合計	1708.0
平均	2.5
分散(n-1)	128.9
標準偏差	11.4
最大値	200.0
最小値	0.0
不明	120
全体	677

問9現在の休暇・休業人数-不明...(数量)

合計	151.0
平均	0.2
分散(n-1)	8.7
標準偏差	2.9
最大値	72.0
最小値	0.0
不明	120
全体	677

問9過去2年間のべ休暇・休業日数-合計...(数量)

合計	470912.5
平均	897.0
分散(n-1)	13934311.7
標準偏差	3732.9
最大値	46151.0
最小値	0.0
不明	272
全体	525

問9過去2年間のべ休暇・休業日数-メンタル...(数量)

合計	298196.5
平均	568.0
分散(n-1)	8506199.6
標準偏差	2916.5
最大値	45216.0
最小値	0.0
不明	272
全体	525

問9過去2年間のべ休暇・休業日数-身体...(数量)

合計	167029.5
平均	318.2
分散(n-1)	1209339.9
標準偏差	1099.7
最大値	14310.0
最小値	0.0
不明	272
全体	525

問9過去2年間のべ休暇・休業日数-不明...(数量)

合計	5686.5
平均	10.8
分散(n-1)	7003.7
標準偏差	83.7
最大値	1344.0
最小値	0.0
不明	272
全体	525

問10過去2年間の休暇・休業者のうち退職者数-合計...(数量)

合計	1115.0
平均	2.8
分散(n-1)	49.3
標準偏差	7.0
最大値	79.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち退職者数-メンタル...(数量)

合計	560.0
平均	1.4
分散(n-1)	13.3
標準偏差	3.6
最大値	29.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち退職者数-身体...(数量)

合計	489.0
平均	1.2
分散(n-1)	15.2
標準偏差	3.9
最大値	57.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち退職者数-不明...(数量)

合計	66.0
平均	0.2
分散(n-1)	3.0
標準偏差	1.7
最大値	33.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち復職者数-合計...(数量)

合計	4180.0
平均	10.4
分散(n-1)	1173.9
標準偏差	34.3
最大値	375.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち復職者数-メンタル...(数量)

合計	1260.0
平均	3.1
分散(n-1)	108.3
標準偏差	10.4
最大値	117.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち復職者数-身体...(数量)

合計	2820.0
平均	7.0
分散(n-1)	714.6
標準偏差	26.7
最大値	363.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち復職者数-不明...(数量)

合計	100.0
平均	0.2
分散(n-1)	9.5
標準偏差	3.1
最大値	60.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち再発者数-合計...(数量)

合計	500.0
平均	1.2
分散(n-1)	18.4
標準偏差	4.3
最大値	48.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち再発者数-メンタル...(数量)

合計	305.0
平均	0.8
分散(n-1)	8.0
標準偏差	2.8
最大値	33.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち再発者数-身体...(数量)

合計	175.0
平均	0.4
分散(n-1)	4.1
標準偏差	2.0
最大値	25.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問10過去2年間の休暇・休業者のうち再発者数-不明...(数量)

合計	20.0
平均	0.0
分散(n-1)	0.4
標準偏差	0.6
最大値	12.0
最小値	0.0
不明	394
全体	403

問11制度利用者の1人1ヶ月当たり給与額...(数量)

合計	7029.0
平均	25.9
分散(n-1)	134.4
標準偏差	11.6
最大値	80.0
最小値	1.0
不明	526
全体	271

問12私傷病者数の増減傾向-合計...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	増えている	241	30.2
2	横這い	364	45.7
3	減っている	82	10.3
	不明	110	13.8
	全体	797	100.0

問12私傷病者数の増減傾向-メンタル...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	増えている	287	36.0
2	横這い	252	31.6
3	減っている	55	6.9
	不明	203	25.5
	全体	797	100.0

問12私傷病者数の増減傾向-身体...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	増えている	105	13.2
2	横這い	430	54.0
3	減っている	87	10.9
	不明	175	22.0
	全体	797	100.0

問12私傷病者数の増減傾向-?... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	増えている	34	4.3
2	横這い	304	38.1
3	減っている	65	8.2
	不明	394	49.4
	全体	797	100.0

問13「リハビリuscita」の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	実施している	245	30.7
2	実施していない	503	63.1
	不明	49	6.1
	全体	797	100.0

問14「短時間勤務」等の勤務形態の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ある	326	40.9
2	ない	441	55.3
	不明	30	3.8
	全体	797	100.0

問15(1)制度利用者の復職直後の職場-メンタル...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほとんどの者がもとの職場に復帰している	255	32.0
2	どちらかというもとの職場に復帰する者が多い	171	21.5
3	どちらかという別の職場に移る者が多い	129	16.2
4	ほとんどの者が別の職場に移っている	37	4.6
	不明	205	25.7
	全体	797	100.0

問15(2)制度利用者の復職直後の職場-身体...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほとんどの者がもとの職場に復帰している	490	61.5
2	どちらかというもとの職場に復帰する者が多い	140	17.6
3	どちらかという別の職場に移る者が多い	23	2.9
4	ほとんどの者が別の職場に移っている	11	1.4
	不明	133	16.7
	全体	797	100.0

問16メンタルヘルス発症社員の把握状況...(数量)

合計	32101.6
平均	57.7
分散(n-1)	987.9
標準偏差	31.4
最大値	100.0
最小値	0.0
不明	241
全体	556

問17常駐の産業医の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	いる	481	35.3
2	いない	857	63.0
	不明	23	1.7
	全体	1361	100.0

問17常駐の保健師の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	いる	130	9.6
2	いない	1121	82.4
	不明	110	8.1
	全体	1361	100.0

問17常駐の看護師の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	いる	242	17.8
2	いない	1022	75.1
	不明	97	7.1
	全体	1361	100.0

問17常駐の産業医の人数...(数量)

合計	692.0
平均	1.5
分散(n-1)	11.5
標準偏差	3.4
最大値	60.0
最小値	1.0
不明	30
全体	451

問17常駐の保健師の人数...(数量)

合計	339.0
平均	2.9
分散(n-1)	26.5
標準偏差	5.1
最大値	51.0
最小値	0.0
不明	13
全体	117

問17常駐の看護師の人数...(数量)

合計	4067.0
平均	19.6
分散(n-1)	3470.8
標準偏差	58.9
最大値	508.0
最小値	0.0
不明	34
全体	208

問18「長時間労働者」に対する面接・保健指導の有無...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	法定以上に実施している	138	10.1
2	法定通りに実施している	471	34.6
3	法定以下だが実施している	97	7.1
4	実施していない	549	40.3
	不明	106	7.8
	全体	1361	100.0

問19長時間労働者に対する面接指導ののべ実施人数...(数量)

合計	35830.5
平均	58.0
分散(n-1)	58526.0
標準偏差	241.9
最大値	3600.0
最小値	0.0
不明	88
全体	618

問20(1)メンタルヘルスに関する研修-管理職...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	実施した	472	34.7
2	実施していない	840	61.7
	不明	49	3.6
	全体	1361	100.0

問20(1)メンタルヘルスに関する研修-非管理職...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	実施した	278	20.4
2	実施していない	1014	74.5
	不明	69	5.1
	全体	1361	100.0

問20(2)労働時間管理に関する研修-管理職...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	実施した	498	36.6
2	実施していない	813	59.7
	不明	50	3.7
	全体	1361	100.0

問20(2)労働時間管理に関する研修-非管理職...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	実施した	231	17.0
2	実施していない	1058	77.7
	不明	72	5.3
	全体	1361	100.0

問21EAPの認知度...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	内容の詳細まで詳しく知っている	52	3.8
2	ある程度の内容は知っている	213	15.7
3	内容までは知らないが名称は聞いたことがある	560	41.1
4	名称も聞いたことがない	502	36.9
	不明	34	2.5
	全体	1361	100.0

問22EAPの利用状況...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	65	24.5
2	利用していない	177	66.8
3	わからない	21	7.9
	不明	2	0.8
	全体	265	100.0